

# 第24回長野県民生委員児童委員大会 2日目

佐久市コスモホールにて

去る7月25・26両日に行われました。

県大会とあって、800人で埋め尽くされた会場は熱気に溢れ、県下5200余名の一人として臨みました。

2日目は、「地域共生社会の実現に向けて」のテーマでシンポジウムが行われ、女性3人の実践発表を聴かせて頂きました。

最初の発表者は、長野市豊野地区会長の土屋慶子さ



シンポジウム会場

ん。障がいの有る人も無い人も「人と人の絆」を実感できる住みよい社会を、と題しての発表でした。

33年間、障がいの者スポーツに関わって来た経験を基に、健常者に、特別視しないで交流の場に積極的に参加してほしいと訴えました。

佐久市中込地区会長の土屋珠江さんは、「顔の見える関係づくりを」と、外で遊ぶ子供達を見かけなくなつた今、大勢の人を巻き込んでのボランティア活動を通じて、児童は地域で育てる大切さを実感。

飯田市上村地区副会長の前島三津江さんは、「花の輪・人の輪・地域の和」25年間生け花の楽しさを教え受けた民生児童委員ですが、今では3期目。

司会の県民児協副会長松嶋隆徳氏のまとめとして「地域共生社会の実現」とは、地道に取り組んで来た事を実践することであつて、新しい取り組みを求めものではない。

委員は健康第一、活動は無理をせず、身近な相談相手で関係機関とのつなぎ役である、と力説。

仕事内容を理解してもらおう事も大事です、と結びました。

最後に、平成から令和に変わった本大会にあたり、心新たに更なる活動の推進



佐久市民児協の皆さん  
の盛大なお出迎え

を誓う、五つの大会宣言案が満場一致で採択され閉幕しました。

次回は安曇野市です。

川辺地区 望月栄一

## 一期多会

### 「民生委員になって思うこと」

民生委員をお受けして三年目に入りました。日々の活動を通じて感じたことを書かせていただきます。

平成の時代が終わろうとしている時、世の中は核家族化が進み、老人一人・二人だけの世帯がとて多くなつてきています。

この方々が上手に繋がっていければ、運転免許を返した後もとても楽しい老後が待っていると思うのですが、なかなかうまく繋がらないのが現状です。

私も役をいただいたりから、お茶のみサロンを立ち上げ皆さんをお誘いするのですが、楽しみに出かけてくださる方は、いつも同じ方ばかり、なかなか増えて

ビデオを見ながら  
お茶のみサロン



いきません。特に男性の方が出かけてきてくださらないので、苦戦をしています。公民館で行う活動は、お金もかからず、いろいろな情報が入り、脳や体が活性化し、良いことがたくさんあります。

億劫がらずに出かけて下さい。一人でテレビは寂しいです。畑で一人は寂しいです。おしゃべりは、頭や心にも良いんだそうです。

普段着で出かけて下さい。そして、楽しい時間を過ごしましょう。

大里地区 白鳥洋子